

新潟県

平成元年

公民館月報

10月
第440号

シリーズ 生涯学習の推進と公民館(5)

実践事例 学習機会の提供—下



村山 徑 ^{あした}「是」

1969年制作 152×212cm

紙本着色

新潟県美術博物館所蔵

山の静かな夜明は、冷涼で清らかな大気に包まれている。自然のいつもの営みは、雄大だ。作者(1917～1987柏崎市出身)は、生涯をかけて大自然への畏敬を画面に投げ続けた。

第30回関東甲信越静公民館研究集会
第38回茨城県公民館大会

第30回関東甲信越静公民館研究集会

期待される公民館に

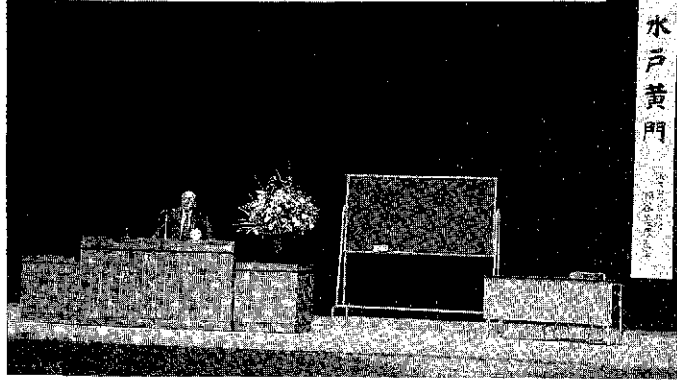
内面に踏みこんだ話しあい

茨城県民文化センターを主会場に

第30回関東甲信越静
公民館研究集会が去る
九月六・七日の二日間
にわたり、水戸市の茨
城県民文化センターを
会場に開催された。

午後一時、開会のセモニーに
続いて、「生涯学習を進めるため
の公民館の役割」を主題として、
千百名の参加者により、十五分
科会に分かれての真しな研究討
議が進められた。

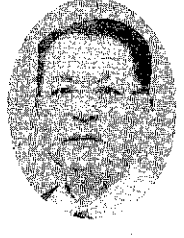
水戸黄門



基調提案では「昨
年の静岡大会のテー
マを踏まえ、年々高
まる住民のニーズに
応えながら、社会情
勢の変化、ライフス
タイルの多様化、高
齢化社会の到来の中
で、余暇活動の充実、
リーダーバンクを初
めとする情報提供、
技術革新、国際理解
のための活動等を通
し、本格的な生涯学
習時代に対応しつ
つ、21世紀に向けて
の創造性豊かな人づ
くり、地域づくりを
目指すための公民館
の果たすべき役割を
研修しよう。」と力強

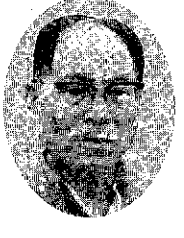
く提案された。
なお、本県からは、昨年と全
く同数の25名の参加者しか得ら
れなかったが、各分科会に分散
して実り多い研修をした。とり
わけ、第八分科会(高齢者部
会)は、西川町公民館長の田子了
秀氏により、「老人クラブと公民
館との連携による高齢者の学習
活動」について実践発表・問題
提起をした。又、司会には村松
町公民館長の宮嶋昌世氏、助言
は大潟町公民館長渡辺之夫氏が
当たり、本県公民館の地道な取
り組みの一端を発表し、他県の
参加者を驚嘆させていた。
第二日目は、茨城県内の2公
民館長(日立市・土浦市)によ
る実践発表。茨城大学名誉教授
瀬谷義彦氏による「水戸黄門」
と題する記念講演があった。
来年度は、長野県公連の主管
により、上山田町を会場に開催
される。隣県のことでもあり、
多数で参加するよう今から準備
を整えてほしいものである。

関プロ公研集会印象記



高齢者の
学習活動部会を司会して
宮嶋 昌世

生涯学習時代を迎えて高齢者
の学習活動、その組織・体制は
どうあればよいか、一都十県か
ら参加した七十四名が三時間の
討議に熱を入れた。
西川町田子公民館長が老人ク
ラブと公民館が一体化した高砂
学級の自主運営による十八年間
の実践を紹介。その高い加入率、
文集十五号の発行、生きがい教
室やふれあい教室等特色ある活
動について驚嘆し質疑意見が集
中した。大潟町渡辺公民館長は、
「その他の問題として、学級に
参加できない人の問題。届ける
学習体制。場所や足の確保。世
代間交流の問題。受益者負担(経
済の充実)。講師選定と人材活用
等を討議。会終了後も都の館長
から質問を受けるほど新潟の力
量を充分紹介できたと思う。」
(中浦村松町公民館長)



先ず自治体首長が
篠田 朝隆

第14部会は「公民館と生涯学
習(町村)がテーマ。参加者百
二名で、当面の課題のため終始
熱の入ったムード。
実践発表は鬼怒川温泉で有名
な栃木県藤原町の公民館長阿部
献市氏。観光立町のこの町では、
ソフト面の生涯学習こそ町づく
りの基礎と、町長自ら陣頭指揮。
先進地視察には、議員も学校教
職員も総動員。生涯学習課が設
けられ、公民館と併せて職員11
名。学習体系の頂点に行政目標
の「町民一人ひとりが健康に活
動して……」を掲げ、行政との
(三面に続く)

関プロ公研集会印象記



第30回関東甲信越静公民館

研究集会に参加して

小崎昇

下田村中央公民館長を拝名して十ヶ月を経過し村民に役立つ公民館はいかにあるべきかと悩んでまいりました。

研究会では、広域から参加された皆さんの貴重な体験を伺い自分なりに当地域の長所、短所を分析することができ、明日からの活動に意欲が生まれ、又、

責任も一段と強く感じました。参加者名簿を拝見致し、第八分科会で新潟県の先覚者が実践活動を通しての発表、司会、助

言等で立派にご活躍され当県の公民館活動の意欲的な取組みを示しました。その反面、当県の参加者が少

ない為、肩身が狭く感じられま

連携、地域の隅々まで学習機会を提供しているのに深い感銘を得るばかり。阿部氏は一貫して曰く、首長の理解が先ずと。他山の石になお隔てあるも、収穫大なり、第30回関東甲信越静公民館研究集会。

(小千谷市公民館長)

した。

村おこし、地域づくりは人づくりから始まります。いまま少参加の意欲を起す必要があると思います。生涯学習の盛り上げもとに教育県新潟をめざし努力しようではありませんか。(南蒲下田村中央公民館長)

辛口

いま、世の中は大きく変化しています。市民の生活用式の変化や日常生活・価値感

の多様化・複雑化・個性化等によって、今までの概念では捉えきれ



時代を鋭敏に捉える

新井市長 大塚久郎

ないことが沢山生じてきております。また、これらの変化の速度が一層早まってきており、時代の背景が違ってくれば、その

政の流れは、行政を文文化することによって、それぞれの地域文化を育み、その主体である市民文化を興し、安全で快適な魅力あふ

捉え方も逆転してしまふことさえある訳です。ところで、文化行政

は、いま、ひとつの波はなっています。文化行政や伝統・産業を学び、

今日的課題と明日への方策

さる七月、長岡市で開かれた第40回県公民館大会のパネル討議で、前段に私は「公民館の今日的課題」として

一、最近の公民館は、公営カルチャーセンターではないか。

二、公民館の学習活動は、学習ゴッコではないか。

三、公民館の学習活動から、なぜ住民の自主運営グループが育たないのか。

四、公民館に來館する住民だけの公民館活動でよいのか。

の四点を提起し、後段でそれらの課題を解決するための明日への方策として、

続公民館日記(5)

後段の「明日への方策」の提案に当っては、前段で提起した今日的課題を解決するための方策を、私のさ

さやかな実践事例をふまえて、できるだけ具体的に提案したいと考えたが、皆さんにご納得いただくには充分とは言えなかったと思っ

以下、この続公民館日記の場を借りて、当日問題提起をした今日的課題と、提案した明日への方策について補足説明をし、皆さんにご理解願いたいと思

また問題提起に当って、その表現方法を迷ったが、「従来の公

(柏崎市中央公民館)

元事務局長 徳間助夫

十月十七日は「貯蓄の日」です

(新潟県貯蓄推進委員会)

三、学社連携事業

一般に学社連携の事業という場合、学校施設の開放や高等学校開放講座と狭義に解する傾向があるが、文字どおり学校教育と社会教育との連携協力という広い意味に捉える必要がある。生涯学習社会を形成するには、学社の連携は重要な意味を持つことになろう。

ある場合には、児童生徒の学校教育の補完であったり、学校教員の学識経験や指導力の社会教育面への活用であったり、ある場合には、地域の教育力向上

のための相互連携であったりと幅広い事業を展開する必要がある。

ここに紹介する公民館事業はこれらの色々な立場から、それぞれ公民館が積極的に取り上げている学習プログラミンの事例である。

1、新井市の場合

中学校との連携による「松山遺跡発掘体験事業」

市立新井中学校「探究クラブ」(正課のクラブ活動)の生徒を対象にしているもので、学校での「占代人の遺跡」に関する学習と、社会教育課の実施する遺跡発掘の事業を連携し「発掘体験」の学習プログラムを設定したものである。開設日時は夏休

み期間中で、教委の発掘調査を実施している一週間のうちの二日間としたが、三日も参加した生徒もいた。

基礎的な学習は学校で行い、実際の発掘体験に参加したものであるが、学校側からも指導教師が参加し、生徒と一体になった体験学習の成果をあげた。

2、能生町の場合

小学校との連携による「親子ふれあい教室」(家庭教育学級)

「豊かな心を育てる地域づくり」を目指して、小学生の子どもを持つ母親を対象に小学校との連携による、二つの親子教室の学習プログラムを新設した。一つは「親子ふれあいゼミ

ナール」、もう一つは「音楽の夕べ」である。(プログラムは表1参照)

このプログラムを開設した趣旨は、子供と一緒に遊んだり、一緒に学ぶという体験の少ない働き者のこの町の母親たちに、土曜・日曜の一時や、夕べの一時を子供たちや母親たちがともにふれあいを深め、こころ豊かな地域をつくることを狙った事業である。

会場を学校にしたこと、学校からも積極的な支援と協力を得たことなどによって好評を博した。また、学習内容そのものも、新井市の場合と同じように、単なる聴講一辺倒の学習でないところが、生涯学習推進基盤に不可欠な「学習の仕方を学習する」

基本的な役割を果たしているといえよう。

能生町の公民館では、昨年度の高い成果に自信を得て、今年度以降もさらに、他地区にこの「親子ふれあい教室」を広めているという。

自主教室の開設にも期待をこめて、全町に広くこの学習方式を広めたいと池亀指導員が力をこめて話してくれた。

蛇足ながら、一つの事業によって、母親も子供もともに「学習の方法」を会得できるこの種の学習プログラムは、もっともっと普及する必要があるように思えた。

四、横の連携による事業

「生涯学習の推進体制」は、多様な学習要求に対応するため「一には出来るだけ多くの学習の機会を提供することである」(本シリーズ2吉川論文七月号)その学習機会には、教育関係施設や機関のほか一般行政部門の事業もあるし、それ等と協力提携して一つの学習プログラムを作成したり、専業を実施することも重要な活動になる。

次に紹介する学習活動は、公民館が中心になって他の部課と提携して実施した試案の事業である。

進と公民館(5)の提供(下)

<表1>

親子ふれあい講座・能生町公民館

これまで、親と子どものそれぞれの学級や講座は開設されてきたが、親子がともにふれあいを深めつつ、同じ教材での学習を実施したことはなかった。生涯学習推進の基盤整備として、親子ともどもに学習する喜びを体験する学習プログラムを開設した。

事業名	事業内容
1. 親子ふれあいゼミナール	1. 親子で郷土を知ろう。植物についての学習 2. ふるさとの野鳥観察 野鳥の生態を知り守ろう 3. 七宝焼実習 親子でアイデアを出しあい、自分の胸を飾ってみませんか 4. 郷土の芸能学習 木浦の舞・木浦小唄
講師は、社教・学校・町ボランティア指導者	開設日時は、昭和63年10月から平成元年3月までの土・日曜日をを利用して20回、1回3時間程度の学習。
2. 音楽の夕べ	1. 音楽の基礎を学ぼう 簡単な器楽演奏 2. 楽しい音楽を鑑賞しよう 音響効果技研 3. 楽しい演奏をしよう 練習の成果を試す 4. 発表会

〔表2〕

C 「青年・壮年・熟年期の家庭教育講座」

学習の計画(事業の計画)

回数	学習宅 習 習	わらいと学習内容	学習形態	時間	方法	連携・協力の担 当 者
1 5 (木) 夜	子や孫と対話し 心の触れあいを 深める	子育てについての心の 交流は大きい、 適切な指導はどうあ ったらよいかを考える	・フィルムフォーラム ・意見交換 ・講師の指導	7:00 ～ 9:00		
2 5 (木) 夜	結婚の意義を考 え健全なる家庭 生活を営もう	結婚の意義を理解し 協力して明るい家庭 づくりを学ぶ	・フィルムフォーラム ・意見交換 ・講師の指導	7:00 ～ 9:00		
3 6 (木) 夜	家庭と仕事のバ ランスのとれた 生活を工夫しよう	共働き家庭が多いが 子どもの教育、家庭 づくりのために生涯 の探求を怠る	・フィルムフォーラム ・意見交換 ・講師の指導	7:00 ～ 9:00		
4 6 (木) 夜	一貫した子ども の家庭教育に心 かけよう	幼・小・中高年生ま での教育で発達に比 じた	・フィルムフォーラム ・意見交換 ・講師の指導	7:00 ～ 9:00		
5 7 (木) 夜	充実した生活を 営むための家庭 設計を考えよう	将来を見通した家庭 生活設計を立てて生 活する大切さを学ぶ	・フィルムフォーラム ・意見交換 ・講師の指導	7:00 ～ 9:00		
6 7 (金) 夜	職業的・経済的 に自立をはか ろう	特に青年期は自分の 適性を考え、働きか ら独立しよう	・フィルムフォーラム ・意見交換 ・講師の指導	7:00 ～ 9:00		

シリーズ 生涯学習の推

実践事例 学習機会

1、水原町の「町民総ぐるみ 家庭教育講座」
水原町公民館では、従来のいわゆる「家庭教育」の講座・教室は、乳幼児を持つ親を対象にしたものが、小学生を対象にしたものが中心で、その対象にしたものが中心で、その対象にしたい場合は、せいぜい中学生どまり。たまたま高校生を持つ親を対象にした家庭教育である。
だが、生涯学習体系においては、生涯の各期に学習を必要とする家庭教育があるとするのである。
そこで水原町では「思いやりのある楽しい家庭づくりに努めた」とおり、水原町では、これまで生涯教育目標づくりと取り組んでいたため、この案は社会教育課の案にとどまっておらず、検討と実施は平成元年度の作業になっている。なお、連携協力の必要を考えられる部課は社会教育課のほか、保健衛生課、福祉課としているが、必要に応じてその他の課も参加することになっているという。

そのプログラムの中には、乳幼児期、小・中・高校生期、青年・熟年期に分けてプログラムングされている。(表2参照)ここに示したプログラムは、青年・熟年期のための学習計画である。表の中で「方法・連携協力」の欄が空白になっているのは、今年度に関係部課と検討して、必要ある部課と協力体制や連携の実態を記入することとしているもの。(註言頭にお断りしたとおり、水原町では、これまでも生涯教育目標づくりと取り組んでいたため、この案は社会教育課の案にとどまっておらず、検討と実施は平成元年度の作業になっている)なお、連携協力の必要を考えられる部課は社会教育課のほか、保健衛生課、福祉課としているが、必要に応じてその他の課も参加することになっているという。

明るい未来にくらしの設計

この種の連携プログラムによる事業は新井市でも三条市でも取り組んでいる。
2、新井市の「親子体力づくり」
新井市公民館では、保育園の園児とその親を対象にした家庭教育教室を開設するに当たり、まず、保育園の主管である福祉課と連携し、学習内容としての①体力づくりについては保健体育課と、②健康・医療に関しては市民生活課と、それぞれ連携して専門的な立場から学習プログラム作成し、指導の場面でも協力して成果をあげている。
3、三条市の「ふれあい広場 ヤングタウン」
三条市の公民館では、若者対象の事業に、保健課と連携して成功している事業がある。
公民館の青年対象の事業が堅苦しいという理由から年々参加者が減少の傾向にあった折り、表3の講座を開設した。

(新潟県貯蓄推進委員会)

ふれあい広場 ヤングタウン

参加者募集

あなたにとって 恋愛って何ですか、結婚って何ですか。

- ◆ 期 間 平成元年6月～8月
- ◆ 時 間 午後7時～8時
- ◆ 会 場 中央公民館
- ◆ 対 象 市内在住、年齢の18～25歳の青年男女
- ◆ 定 員 30名 ◆ 受講料 無料
- ◆ 申込先 5月30日(火)までに中央公民館(☎32-4811)、又は、市保健課(☎4-5511)へお申込みください。



№	実施月日	テ マ
1	6/14(水)	ふれあい「ヤング・タウン」へ
2	6/28(水)	彼とお金をかかりにかけよう、こっそり甘い
3	7/12(水)	みんなとき、男は女はどう考える
4	7/26(水)	これだけは知りたかった「プライダム」フィー
5	8/9(水)	新婚旅行あらかると

主催 三条市保健課、三条市中央公民館

中里村公民館

実践記録シリーズ

(35)

おらが村のニユースポーツ

ユニホッケーの定着をめざして

一、はじめに
 中里村は東西 9 km、南北 2.5 km で 128.2 km² の面積をもち、十日町市と津南町の間位置する農山村である。村の西寄りを信濃

川が北に向かって流れ、東方から七川、清津川、釜川がこれに注いでいる。地形的には、信濃川右岸は比較的平坦な 2 段の台地を形成し、七川、清津川、釜川に 4 分された台地に耕地がひ

二、中里村の社会体育
 現在中里村体育協会に所属している団体は、野球(五チーム)バスケットボール・剣道・スキー・テニス・バレーボール・卓球の七種目、十一団体二六名となっている。

体協主催の各種スポーツ大会、教室等は、各部を中心に年間十八回開催されている。

近年は、大会等の開催にとどまらず、優秀選手の育成、各種大会出場者への援助、指導者育成にも力を入れ、昭和六三年度には、スポーツ少年団が結成され、ジュニアの育成のために組織的な取り組みも行なわれている。

また、組織の底辺を広げ、より多くの住民参加を得、地域に根ざした体協同とするため地区体協の組織づくりにも着手しているところである。

三、ニユースポーツの定着をめざして
 ユニホッケー教室
 次に村内のスポーツの活動状況について見てみると、施設利

用団体については、登録制をとっており、六三年度では、七種目、一八団体五一一人が登録しており、利用日数七五六日、延利用者一四、七〇八人となっている。

人口わずか六、八〇〇人の村であるが、施設利用登録者五〇〇人余り、スポーツ少年団二〇〇人、スキー部等を加えると、七〇〇人を越え、村人口の一割以上の者がいづれかの組織に所属し活動していることになる。

今、中里村が重点普及スポーツとして取り組んでいるのが、ユニホッケーである。耳新しい種目で、あまり親しまれてはいない。この競技の原形は一九六八年スエーデンで考案され一九七八年に日本に紹介されたもの。

一九八六年全国組織「日本ユニホッケー協会」が設立され新しくルールが編成され、屋内外どこでもできるスポーツとなり楽しまれている。

一九八七年に順天堂大学の齋藤教授が国産ステックを日本で初めて考案し普及することになった。

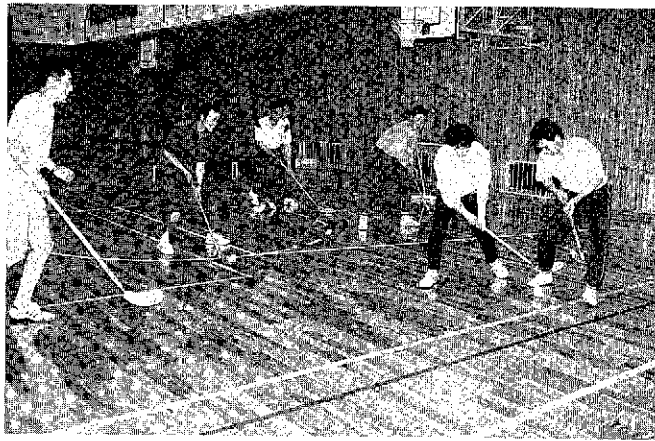
本村の取り組みの経緯については、体育指導員協議会、体育協会等で「いつでも」「どこでも」「だれでも」親しんで取り組めるスポーツはないかと模索している中、一昨年、井ノ川将男氏

(村体育指導員協議会長)によりユニホッケーの取り組みについて提案がなされ、昨年公認指導員講習会に三名の体育指導員の参加を願った。その後この指導員三氏から村内学校の教師、体指・体協各団体に呼びかけ数回の講習会を開催し知識、技術の修得及び普及につとめてきた。

競技の内容、ルールについては割愛するが、イメージとしては、アイスホッケーを連想していただければと思う。ルールは簡単で、老若男女あらゆる層で楽しんでもらえるスポーツである。

当村では、五セットを用意し学校開放校に常設し、親子レク等で楽しんでもらっている。この秋には、順天堂大学(齋藤教授)より講師派遣を願い村内で公認指導員講習会を開催し、更に普及につとめることにしている。この講習会には近隣市町村の皆さんからも参加いただければと思っている。

以上中里村で取り組んでいるニユースポーツについて簡単に紹介した。実践記録にならない報告のように思われるが、中里村のスポーツ活動の紹介とさせていただきます。



氣候は夏季比較的温暖であるが、冬季は北西の季節風が強く、県境の山脈に吹きつけて風雨雪になり、3〜4 mにおよぶ積雪期間が130日の長期におよぶ県下の数の豪雪地帯である。

武田定純記

中里村派遣社会教育主事

下越地区公民館役員研修会 公民館の役割を考える

関川村公民館を主会場に

九月七、八日にわたり、関川村公民館を主会場とする下越地区公民館主催の公民館役員研修会が開催された。

主題を「生涯学習と公民館の役割」におき、第一日は事例発表、記念講演、第二日は、分科会と全体報告会ならびに指導講習の日程が組まれていた。下越全域から一五〇名に及ぶ参加者により熱心な研究討議がなされた。

第一日の事例発表では、

1 「住民の学習意欲の喚起について」
中条町社教主事 長野正夫

2 「公民館の施設・職員体制」
新潟市北地区公民館長 吉井英一

3 「地域おこしについて」
関川村社教係長 伊藤泰雄

関川村社教係長 伊藤泰雄の三氏が、日ごろの実践や問題等について発表されると共に、第二日の分科会のための問題提起をしていた。

記念講演は「異文化とコミュニケーション」を題して、欧文社英語研究所部長の増子良一氏による90分の講義があった。第二日は、分科会に移り、前記の三氏による事例発表に基づき三分科会に分かれての研究討議がなされた。

前日の事例発表と問題提起が具体的であり適切であったためか、どの分科会も終始熱心な質疑や活発な発言が飛び交っていた。

続いて全体会に移り、分科会報告のあと、下越教育事務所の社会教育課長関川経雄氏の指導

【表3】

発表者	司会者	記録者	世話係	助言者
1 中条町社教主事 社会教育主事 長野 正夫	月形町教育委員会 関川村公民館長 榎村 信	関川村教育委員会 関川村公民館長 山田 恒雄	山形町教育委員会 社会教育主事 高野 昌平	下越教育事務所 副主事 (社会教育主事) 佐久間完治
2 新潟市教育委員会 新潟市北地区 公民館長 吉井 英一	関川村公民館 公民館長 審議会委員長 榎田 弘	神林町教育委員会 副主事 鈴木 勘助	新田町教育委員会 副主事 鈴木 博哉	下越教育事務所 主事 (社会教育主事) 上田 勝彦
3 関川村教育委員会 社会教育係長 伊藤 泰雄	関川町教育委員会 社会教育主事 下井 英昭	村上町教育委員会 社会教育係長 中倉 清	東區神林教育 委員会 社会教育主事 本保 敦子	下越教育事務所 副主事 (社会教育主事) 菊池 二郎

例年のことながら、下越地区公民館のユニークな研修会の持ち方つまり、事例発表や問題提起は全体会で、研究討議は分科会で、という方式は、問題の内容が全参加者に周知されるメリットがあり、参加者尊重の配慮がよく伝わってくる。実質的で実り多い研修会になったことであろう。

なお、欲を言えば、事例発表の時間が四十五分、一人当りの持ち時間十五分というのはいかかなものであろうか。これでは発表者は十分な説明もできず、聴取者ともども消化不良になったのではないかと案ずるのである。

能生町公民館主事補

山本喜八郎氏(23歳)

今春、中京大体育学部卒。ふるさとの山野と人情が忘れられずユニターンをして就職。

過疎化が進行している能生町としては貴重な人材の一人。スポーツマンらしく、明朗な態度で、てきぱきと仕事を処理している。学生生活から社会人へと立場が一転、職場の公民館は町の行政の中

でも町民とのふれ合いの一番多いところ。その対応の仕



れ合いの一番多いところ。その対応の仕

方にも戸惑いも多かったようだが、最近はそのこつもだんだんと身につけ、スムーズに対応している。自分の職務の中でも、今後は社会体育を通して、町民とのふれ合いを深め、スポーツの盛んな町づくり、地域の活性化に努力したいと大きな抱負をもって連日活躍中。(蛇足) 公民館職員は土、日曜や夜間の活動が多いので、自己の健康管理と何事も経験第一、憶することなくアタックしてほしい。(能生町公民館長 利根川晃義記)

素顔 拝見

新潟市中央公民館主事

山田 隆氏(29歳)

山田隆君は南魚、五日町の生れ。この春燕市の松長小学校から三年間の社会教育体験の為新潟市に来てもらった俊英である。

マナーも良し、礼儀も言葉使いもさわやかで、何より親切。その上腰も軽く、先生をしていた人とはとても思えない。

代ったばかりの職場でいくらかとまどいがあるようだが、新人とは思えない仕事ぶりであり既に幾つかのノルマをこなした。

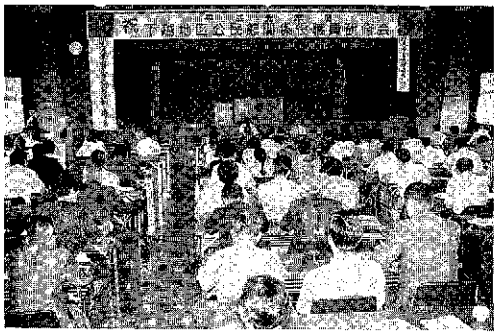
それも「アジアの国々を見直そう」という青年向け講座や、



二〇〇人の子供達と二泊三日を過ごす「ワンバクキャンプ」などベテランの連中でも敬遠したがる事業ばかりである。この夏は、カヌーや乗馬にも挑戦したそうで、好奇心の方も一流。公民館職員としての資質は十分だ。

この春結婚したばかりの二十九才、長く公民館で働いてほしい人材である。健闘を祈りたい。(新潟市中央公民館 武樋 洗記)

武樋 洗記





読書を進める集い

県読書推進運動協議会

県読書推進運動協議会では、県立図書館・公民館との主催で「読書を進める集い」を開催する。

従来本から読みとっていた事柄を他の方法でより早く、容易に受け取ることができるようになってきた現在でも、読書の持つている価値は依然として高い。

そこで、一般婦人をはじめ、読書会や家庭文庫関係者、教師、図書館、公民館職員が集まり、話し合い、情報を交換することによって、読書の輪をいっそう広げること狙ったもの。

開催要項は次のとおり。
上越・中越地区

期日 10月27日(金)

会場 六日町図書館

講演 文学の持つ力―佐多稲子の「夫婦」を読んで
県立新潟東高校教諭

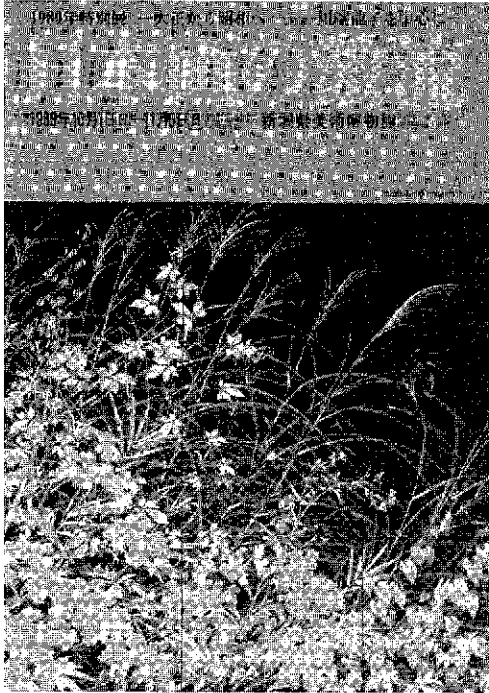
若 月 忠 信

研究協議

「読書―現代社会における親と子のかけ橋」

事例発表

(1) 大型絵話を作り、地域で演じ



1991年特別展「大正から昭和へ」 新潟県美術館
1985年特別展「11月17日」 新潟県美術館

日本画の激流

新潟県美術館

大正期から昭和初期にかけての日本画家たちの活躍はめざましいものがある。

その中から、「青龍社」を樹立

した川端龍子の作品を中心に、あわせて、同時代に日本画の変革を試み、新生面を切り開いた画家たちの作品の中から、主に

南魚沼郡六日町図書館へ

下越・佐渡地区

期日 11月14日(火)

会場 紫雲寺町公民館

講演 文学の持つ力―新井満の「尋ね人の時間」を読んで

県立新潟東高校

若 月 忠 信

塩沢町保母 田 中 俊 子
(2) さあ一緒に楽しもうね、読み聞かせの時間だよ。

主婦 内 田 知 子

参加申込 4月12日(木)

(1) 絵本を通して子供とふれあう

時 紫雲寺町 保母 齊 藤 洋 子
(2) わが家の親子読書
紫雲寺小PTA
石 井 清 雄

参加申込 10月27日(金)

北清紫雲寺町公民館へ

日程

受付	13:00
開会	13:20
講演	14:20
休憩	14:30
研究協議	16:00
閉会	

東京画壇を中心に展示し、大正から昭和へと激流のように広がっていった変革の息吹あふれる日本画の世界を紹介している。

特別展期間会場

10月1日から11月15日

新潟県美術館

出品作品

○ 全期間出品作品

○ 前期間出品作品

10月1日～10月15日

○ 後期出品作品

10月17日～11月5日

作品解説

会期中毎週土・日曜日午後2時から学芸員による解説

入館料 一般七百元、高大生五百円、小・中生三百円

記念講演

講師 苅出平八郎(神奈川県立近代美術館長)

演題

近代の日本画

日時 10月21日 午後2時
会場 県民会館小ホール
入場無料

あとがき

◇当県公連で公募中の「創立40周年記念論文」の応募原稿の提出締め切りを十月末日としていましたが、都合により十二月末日まで延期することになりました。

時節から、取り上げる材料は実に豊富です。奮って応募してください。なお、応募は個人の応募はもちろん、グループの取り組みも歓迎しています。

◇当「公民館月報」の年ぎめの個人購読をおすすめします。一部百二十円、年ぎめ千四百四十円。(郵送料当方負担)公民館関係者一人ひとりの必携の情報・研修紙として購入ください。(上村記)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟 (025) 224-6073】

発行人 会長 木下 清一

編集人 事務局長 上村 捨二郎

【定価1部 120円 年共 1,440円】